

ミュージカルをつくろう!

ZEROキッズ

ZEROキッズのミュージカルは、通常の市民ミュージカルのように大人が台本を書いて子どもが演じるものではありません。

子どもたちが自然体験やワークショップをする中で、生まれてくる言葉や動きの集大成としてミュージカルがあるのです。なので、ひとつのミュージカルが舞台上で実現するまで、3年ほどかかります。そして、「子どもたちのため」と言いながら、本気で夢中になって関わる大人たちたくさんがいます。その活動のいくつかをご紹介します。

ミュージカル「そらのふ・し・ぎ」 ができるまで



コンピュータワークショップ

舞台美術、衣装、背景
キャラクター

イメージの世界であそぶ

- ・ そらからイメージする擬音を音楽にする
- ・ 言葉のイメージを出し合う
- ・ 描く・空想の生き物を仮面につくる

自然体験



サイエンスを学ぶ

日本科学未来館
科学技術館
プラネタリウム
天文台

舞台の実現に向けて

稽古

- ・ 歌、ダンス、パントマイム
芝居の稽古
- ・ 舞台機構の見学、裏方さんの話を聴く

演劇ワークショップ

- ・ 即興劇を集めてストーリーに

願い・望みを考える

自分の望みや願いを思いっただけ書き出し、分析をするワークショップ

地球を知る

- ・ 自分たち日本の子ども
- ・ フィリピンのスモーキーマウンテンの子ども
- ・ 戦争の中で生きる子ども

<活動風景>



ママよりやさしいお姉ちゃん大好き



仮面づくりからキャラクターが生まれた

2005年にはボランティアアクション in フィリピンに参加。自分の目で見る。行かない子ども支援袋を作る。



星空合宿 (花立山天文台)



合宿大好き子ども&ママたち (河口湖)



空の子ども：
子どもにだけ見える空の世界に暮らす
「そらのこどもたち」



<ミュージカル舞台風景>

*子どもたちは「空の子ども」「地球の子ども」役
*ママたち大人は「宇宙人」「宇宙海賊」役などで出演



地球の子ども：
スモーキーマウンテンの兄妹は、毎日
ゴミを拾って売ることによって家族の生活を
支えている



ZERO キッズの歩み

- 1993年 なかの ZERO 大ホール開館記念事業でオペレッタ『11ぴきのネコ』公演
- 1994年 『ZERO キッズ』結成・「表現あそび」はじめる こどものためのオペラ『銀河鉄道』
- 1995年 ゆかいな音楽講座「オペレッタ入門」「日本の音」「音遊び」ワークショップ」
- 1996年 音のワークショップ「音をさがそう・音をつくろう・音とあそぼう」開始
- 1997年 山形県立鶴岡養護学校と交流音楽会はじめる 『続・11ぴきのネコ予告編』公演
- 1998年 創作ミュージカル 地球ファンタジー『森のふ・し・ぎ』公演
- 1999年 交流音楽会 2作目のミュージカルに向けて始動 「ゴスペル入門」はじめる
- 2000年 創作ミュージカル 地球ファンタジー『海のふ・し・ぎ』公演
- 2001年 CD『Across The Road』自主制作 『C-C-Cらんど』アップロード
- 2002年 「C-C-Cふぉーらむ」開催 3作目のミュージカルに向けて始動
- 2003年 10周年記念ミュージカル Space ファンタジー『そらのふ・し・ぎ』を公演
- 2004年 ウクライナの子どもと国際交流、文部科学省委託事業「地域子ども教室」
- 2005年 音楽教育振興賞受賞、創作ミュージカル「そらのふ・し・ぎ」再演
- 2006年 日本の歌で地域・世代間交流活動 こども・まち・アート交流見本市「夢のキッズミュージアム」

<出版物>

楽譜：「子どもたちと創る地球ファンタジー海のふ・し・ぎ」(音楽之友社)
 楽譜：「子どもたちと創る Space ファンタジーそらのふ・し・ぎ SONG BOOK」(音楽之友社)
 CD：「総合的な学習のための劇音楽集⑥子どもたちと創る地球ファンタジー 海のふ・し・ぎ」
 (ビクターエンタテインメント)、CD：「そらのふ・し・ぎ」「見えない翼」(自主製作)